

**函館市廃棄物処理施設整備基本計画（案）に対する
パブリックコメント手続の実施結果について**

案件名	函館市廃棄物処理施設整備基本計画（案）
募集期間	平成29年11月28日（火）～12月27日（水）
担当課	函館市環境部環境推進課
意見提出者数	2人（5件）

○ 函館市廃棄物処理施設整備基本計画（案）に対する意見の概要と市の考え方

※「意見の概要」については、原文を要約および分割して載せています。

No.	意見の概要	市の考え方
1	○ 官民協働において、事業者が行う3Rと、減量化施策を連携し、前進させる新戦略を掲げるのはどうか。	○ 貴重なご意見・ご提言として、本市における環境行政の推進にあたり参考とさせていただきます。 なお、生ごみの減量化・資源化につきましては、「第3次函館市一般廃棄物処理基本計画」に基づく取り組みを進めるほか、バイオマスエネルギーへの活用等につきましては、将来に向け、どのような取り組みが有効であるのか検討を進めてまいりたいと考えております。
2	○ ごみ減量の最大の課題は、生ごみと考える。生ごみは、バイオマスエネルギーへの活用や堆肥利用へ迅速に活路を求めるべきである。	
3	○ エネルギーといえば、この案でも焼却設備から排出される余熱などに利用することを計画しているが、場内外にもっと還元出来ないか、ストックにチャレンジしてほしい。	○ いただいたご意見は、今後、日乃出清掃工場の抜本的改修に係る仕様を具体化する基本設計等において、参考とさせていただきます。
4	○ 廃棄物処理施設は、都市インフラの中で重要施設である。本計画案には無いが、都市災害特に、津波、地震に対する備えを確実に本計画と並列して施業して頂きたい。	

5	<p>○ 今回の場所での改修には反対である。再度整備計画を検討して禍根を残さないようにしていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校が近く、風上とはいえ、風の吹き方で煙が下に落ちてくることもあり、そういう時には環境基準を超えた有害物質が出ていると思われる。ごみ焼却場の近くの住民の健康状態は、遠くに住んでいる住民に比べて問題があることは統計上もでている。 ・ 他の自治体の人達が、小学校とごみ焼却場が近くに位置しているのを見た時、弱い立場の人間が大切にされていないと思われかねず、街のイメージダウンになる。 ・ 煙突の高さと炉内の温度が焼却炉にとって重要な要件である。煙突の高さが低すぎると思う。小学校のような施設が近くにある場合、出来るだけ性能の良いものをいれるべきである。 ・ 今回の工場は、湯の川温泉から函館山へ行く道につながっている漁火通に面しており、美観上も好ましくない。 	<p>○ 新たな焼却施設の整備方式につきましては、「函館市廃棄物処理施設整備基本計画検討委員会」において、新規整備と日乃出清掃工場の抜本的改修について、概算事業費、メリット・課題、事業計画等について比較検討を行い、コスト面のほか、都市計画決定され、現在、稼働している施設であることなどを勘案し、現施設の抜本的改修による方式が選定されたところであり、市としても、本委員会の検討結果を踏まえ、整備方式を決定したところです。</p> <p>日乃出清掃工場は、建設に際し、周辺住民の皆様とのお話し合いや、建設計画案について、公告および住民意見等をお聞きする縦覧の手続きを経て、昭和47年5月に都市計画に定められた施設であり、昭和50年2月の運転開始以降、周辺の生活環境にも十分配慮しながら施設稼働に努めております。</p> <p>なお、新たな施設の整備に際しましても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に規定されている生活環境影響調査を行い、必要に応じて、環境保全対策を実施するなど、今後も引き続き、周辺の生活環境の保全に、努めてまいります。</p>
---	--	--

意見等を考慮した結果の修正案	意見による修正はありません
結果の配付場所	環境部環境推進課（環境部庁舎3階）
お問い合わせ先	環境部環境推進課 TEL 0138-56-6615 FAX 0138-51-3498 E-mail:kankyoh-shinshori@city.hakodate.hokkaido.jp